

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		平成 30年 2月19日	受理者印
		午前 午後	11時35分受理 
議会名	平成 30年 第 1 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 17 番	氏名	岡村 恵子
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目(具体的な質問内容)		
1. 国民健康保険について (1)子どもの均等割り減免実施について	①平成30年度の国民健康保険税は、一世帯平均約15,000円減額になるが、0歳児にもかかる均等割りが値上げになったため、2.8%の世帯の保険税が今までより値上げになる。このことは子育て支援に逆行すると考えるが、市の見解を伺いたい。 ②多子均等割り減免を実施するべきと考えるが、市の見解を伺いたい。		
(2)保険証交付と滞納対策のあり方について	①栃木県国民健康保険運営方針では、「滞納世帯が抱える事情の丁寧な把握に努め、短期保険証を活用して滞納者との接触の機会を増やす等して、きめ細かく対応するよう、引き続き県は市町に助言する」としている。滞納対策に関し、市の考え方を聞きたい。 ②保険証交付に関し、資格者証の発行が以前と比較して減ってきている。今後もさらに発行世帯を減らす方向で努力するべきと考えるが、市の見解を伺いたい。		
(3)今後の国民健康保険財政調整基金のあり方について	①現在15億円以上ある財政調整基金について今後の活用はどのようになるのか。		

2. 子育て世帯の経済的な負担軽減について

(1) ひとり親家庭医療費助成について

① ひとり親家庭医療費助成について、1レセプト500円の自己負担があるが撤廃するべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

(2) 就学援助制度の拡充について

① 就学援助が必要な家庭について、きめの細かい実態把握をどのようにおこなっているのか。

② 同じ基準でも、受給率等に自治体間差、市内学校間差があることについてどのように認識しているのか。

③ 「子どもの貧困対策に関する大綱」に基づき、国として就学援助の実施状況等を定期的に調査し、公表するとともに就学援助についてポータルサイトを実施しているがこれらの事をどのように受け止めているのか。

(3) 子ども医療費助成の拡充について

① 平成30年度からは、子ども医療費助成に対して課せられていた国保の減額措置（ペナルティ）が就学前までなくなるが、その影響額を伺いたい。

② このペナルティがなくなった分の財源を利用するなどして、子ども医療費助成の年齢を引き上げるべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

(4) 保育所の保育料と学童保育の負担軽減について

① 保育所の保育料と学童保育の利用料等今後値上げがあってはならないと考えるが、いかが。

② 学童保育について、公設と民間の利用料に違いがあるため、市は利用料軽減のために民間事業者に補てんをおこなっているが、今後公設の利用料を引き上げることになれば、子育て支援に逆行することになるが市の見解を伺いたい。

(5) 市独自の給付型奨学金事業の創設について

① 平成29年度から国が給付型奨学金事業を創設させたが不十分なため、自治体独自としての給付型奨学金制度が全国的に広がってきているが、本市としても創設するべきと考えるが、見解を伺いたい。

<p>3. 第2次佐野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について</p> <p>(1) 前計画の目標達成状況とごみ処理の課題について</p> <p>(2) 再生利用率向上について</p> <p>(3) 家庭ごみの有料化について</p> <p>(4) 中間処理施設の現状と今後について</p>	<p>①リサイクル量及び再生利用率が減少傾向にあるとしているがその要因は何か。</p> <p>②最終処分場の整備について検討していくとしているがその考え方について伺いたい。</p> <p>①本市の平成28年度再生利用率は14.0%であり、平成41年度に30.0%を目指すとしているが、この課題達成のために何が必要とお考えか伺いたい。</p> <p>①「受益者負担の適正化」として、「家庭ごみの有料化の検討」としているが、ごみ減量に逆行する有料化はするべきではないと考えるが、市の見解を伺いたい。</p> <p>①みかもクリーンセンターと葛生清掃センターの今後についてとあるが、現状と今後の在り方はどのようなものか。</p>
---	---